

あっというまの1月でした

広徳中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。いよいよ受験シーズン本番です。来週、2月3日から3日間、北九州地区の私立高校の入試が行われます。受験する3年生の皆さん、広徳中職員一同、心から応援しています。大丈夫、皆さんには「広徳中プライド」がついています。

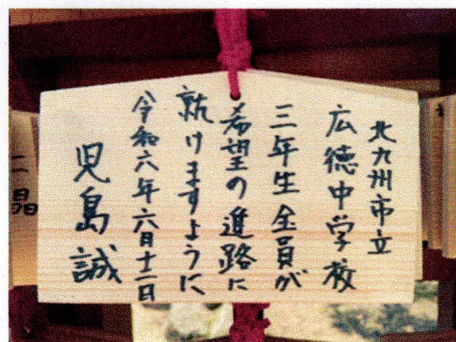
先日、ある高等学校の校長先生に、受験生に伝えて下さいということで、お話をいただきました。とても大事な事ですので、1, 2年生の皆さんにも伝えたいと思います。しっかり読んでください。

入試問題には必ずやればできる問題が含まれています。それを確実に落とさないことが大切です。

例えば、数学なら計算問題、国語だと漢字や読みがなの問題、他の教科にも語群や記号問題などの「やれば必ず答えられる」問題が必ずあります。その問題に立ち向かっていく気持ちを見せて下さい。試験中、態度で努力を見せることが大切です。

居眠りや解答用紙を白紙で出すなどは論外。試験時間いっぱい努力を続けてください。まわりに知り合いが多いと、つい気持ちがゆるんでしまうことがあります。家に帰りつくまでが入試です。

特に他校の生徒と接触するような場合には、慎重に行動しましょう。



【6月12日 太宰府天満宮にて】

○ 2年生で道徳の授業をやっています

広徳中では、担任だけではなくいろいろな先生方が道徳の授業を行っています。もちろん児島も例外ではありません。今回は2年生と、「さよなら、ホストファミリー」という題材で、自分の国のよさについて考える授業を行っています。このお話は、海外でホームステイをした中学生の智子が、日本について質問されてうまく答えられず、改めて日本のよさを考え直すという内容で、2年生の皆さんは、それぞれ日本の「よさ」をワークシートにまとめていました。では、感想を紹介します。

- 自分の今住んでいる地域の良さについて考えたことがなかったから、調べてみようと思った。
- 人に伝えたいことがあるときは、調べてからじゃないと伝えられないから、まずは調べてみることを1番にしたい。
- コミュニケーションをするために必要なことを知った。心に入れておく。
- 海外の人に日本のことを聞かれても、ちゃんと日本の良さを伝えられるようにしたい。
- 自分の国の文化を知ること、外国の人に国のよさを伝えることができました。
- 人々に知らせていくことで、今の日本がよりよくなるかもしれないと思いました。
- 自分だったら、日本のことを知らないなって反省して、また会える日が来たら、たくさん調べてちゃんと話せるようにしておこうって思いました。
- 自分の国のよさを知り、それをたくさんの国の人に知ってもらうことで、興味をもってもらうことができ、良いことがたくさんあるんだなと思いました。
- 自分も日本が好きだけど、もし外国人に質問されても答えられないなと思いました。もっと日本について知識を深め、良いところを伝えられるようにしなきゃと思った。